

6年生保護者様

犬山市立犬山北小学校
校長 神谷 勝治

全国学力・学習状況調査結果（個人票）の配付について

初秋の候 保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、4月に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果が、文部科学省から7月末に届きましたのでお知らせいたします。なお、結果の公表につきましては、文部科学省の「序列化や過度な競争とならないようにするため、平均値等の数値そのものの公表はしない」という方針を受け、数値の公表はいたしませんので、何卒ご理解をお願いいたします。

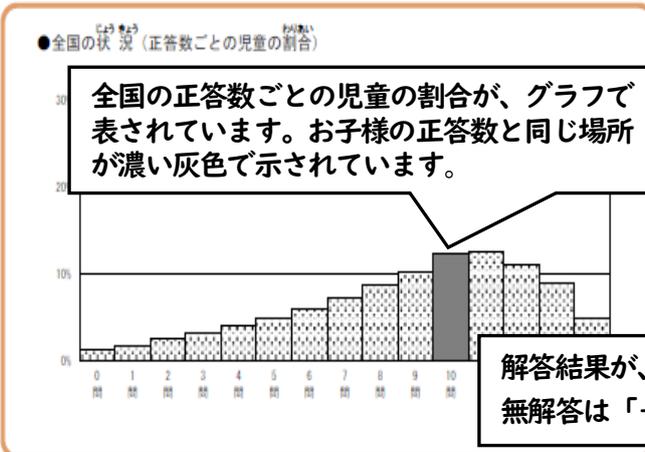
今回の結果は、お子さまの学力の一端を測定したものです。つきましては、得意なこと・不得意なことを個人票の結果から読み取り、今後の家庭学習に生かしていただきたいと思います。また、保護者の皆様には、子どもたちが学習意欲をもって取り組めるように励ますとともに、環境づくりへのご協力もお願いいたします。

1 個人票の見方（ここでは「国語」を例に説明します）

(1)~(3)は「知識・技能」の内容
A~Cは「思考・判断・表現」の内容

国語	正答数	10 / 14問
	全国の平均正答数	9.0問

学習指導要領	正答数	全国の平均正答数
(1) 言葉の特徴や使い方に関する事項	5 / 6問	4.0 / 6問
(2) 情報の扱い方に関する事項		
(3) 我が国の言語文化に関する事項		
A 話すこと・聞くこと	2 / 3問	2.0 / 3問
B 書くこと	1 / 2問	1.0 / 2問
C 読むこと	2 / 3問	2.0 / 3問



問題形式	正答数	全国の平均正答数
選択式	6 / 8問	5.0 / 8問
短答式	2 / 3問	2.0 / 3問
記述式	2 / 3問	2.0 / 3問

お子様の正答数と全国の平均正答数が示されています。（○/○問）

解答結果が、正解は「○」、誤答は「×」、無解答は「-」で示されています。

出題形式として「選択」「短答」「記述」のいずれかで示している。

問題番号	問題の内容	結果	全国の正答率 (%)	学習学年 ※	学習指導要領の内容					問題形式	
					(1)	(2)	(3)	A	B		C
1	津田梅子の二つの業績を明確に伝えるための練習で上野さんが話した構成の説明として適切なものを選ぶ	○	71.3	5・6				★			選択
	津田梅子についての【スピーチ】の練習で、〈資料②〉と〈資料③〉を使った理由の説明として適切なものを選ぶ	○	63.6	5・6				★			選択
	津田梅子についての【スピーチ】の練習で適切なものを選ぶ	×	28.9	5・6						★	選択
	面ファスナーに関する【資料】の文章が、何について、どのように書かれているかの説明として適切なものを選ぶ	○	42.1	5・6						★	選択

各問題の全国の正答率が示されています。

各問題の学習した学年が示されています。

各問題の該当する観点項目に、★印がついています。

2 本校の学習面の結果概要

(1) 本校の平均正答率と、県及び全国平均正答率との比較

○国語は、すべての出題分類・区分で、やや高い数値でした。

○算数は、すべての出題分類・区分で、やや高い数値でした。

○理科は、すべての出題分類・区分で、やや高い数値でした。

(2) 県及び全国との比較とは別に、本校の児童の「優れている内容」・「不足している内容」

○国語 <優れていると思われる内容> <不足していると思われる内容>

・「(3)我が国の言語文化に関する事項」 ・「B 書くこと」

○算数 <優れていると思われる内容> <不足していると思われる内容>

・「B 図形」 ・「C 変化と関係」

○理科 <優れていると思われる内容> <不足していると思われる内容>

・「粒子を柱とする領域」 ・「エネルギーを柱とする領域」

■国語は、14問中12問が、全国平均正答率より高い数値でした。

<本校の児童の正答率が低かった問題>

・話し合いの様子に関する大問における、発言の内容を適切に把握し、言葉には、相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える問題

★ 授業の振り返りの場面で、自分たちの話し合いの様子を確かめるようにする。

■算数は、16問中13問が、全国平均正答率より高い数値でした。

<本校の児童の正答率が低い問題>

・百分率で表された割合を分数で表す問題

★ 割合の表し方を理解し、百分率を求めたり、用いたりできるようにする。

■理科は、17問中12問が、全国平均正答率より高い数値でした。

<本校の児童の正答率が低い問題>

・昆虫の体のつくりを説明するために必要な写真を選択する問題

★ 複数の種類の昆虫の体のつくりを比較し、差異や共通点を説明できるようにする。

3 本校の児童質問紙の結果概要 ※69問の質問に回答しました。

(1) 県内平均・全国平均と比較して本校の児童の割合が高い項目 (一部抜粋)

- ・自分にはよいところがあると思いますか
- ・今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・学校で、学級の友達と意見を交換する場面で、ICT機器をどの程度使っていますか
- ・道徳では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか
- ・理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか

(2) 県内平均・全国平均と比較して本校の児童の割合が低い項目 (一部抜粋)

- ・将来の夢や目標を持っていますか
- ・難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか
- ・家で自分で計画を立てて勉強していますか (学校の授業の予習や復習を含む)
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか

なお、この結果はあくまで「6年生全体の傾向」を表しているものです。家庭の学びの取組や日常生活を見直すきっかけにしていただければ幸いです。

★令和4年度全国・学力学習状況調査の結果(概要)は、以下のURLで参照できます。

URL <https://www.nier.go.jp/22chousakekkahoukoku/22summary.pdf>